

# 地球 1 個分の資源で生きる

～持続可能な社会のための新しい資源循環技術～

産業革命以降、人類は地球の再生能力を大幅に超える資源を消費し続けており、現在の人類の需要を満たすには、毎年地球 1.7 個分が必要とされています。

本シンポジウムでは、カーボンニュートラルのみならず、地球全体の自然資源を経済原理に含めることで、真に持続可能な社会を目指す、という最新の考え方を紹介します。これはサーキュラー・エコノミー(循環経済)の視点に立つもので、今後の企業経営や技術開発の方向性を見通す際に、必ず道しるべとなるでしょう。

さらに、循環型社会を実現するためのコア技術となる、使用後の材料や部材、排出物も、資源と捉えて活用する最先端の循環技術を紹介し、その社会実装に向けた取り組みや課題を議論します。

## 2022. 3.4 (金) 13:30-16:00 (オンライン開催)

### <基調講演> 地球生態系とのバランス指標としてのエコロジカル・フットプリント ～ダスグプタ・レビューの示す未来



同志社大学  
経済学部 経済  
学科 教授  
和田 喜彦

#### 講演者紹介

長野県須坂市出身、カナダ・バンクーバー育ち。自然生態系と経済を統合する経済学に取り組んできた。ダスグプタ・レビューの日本語版共同監修者。

「人間も経済も自然の一部に組み込まれていて、完全に依存している」、「人間の経済活動による自然の利用は、自然・生態系の供給能力を超えてはならない。」これは英ケンブリッジ大学パーサ・ダスグプタ名誉教授の「生物多様性の経済学：ダスグプタ・レビュー」で示された提言です。自然の摂理や特性を深く理解することによって持続可能な経済を実現しようとする、新しい経済学の考え方を紹介します。

### <講演>

#### 循環経済がビジネスの常識を変える



(一財)日本経済  
研究所 常務理事  
有年 和廣

#### 講演者紹介

兵庫県西宮市出身。'96 年日本開発銀行(現 DBJ)入行。鉄鋼・機械、情報通信等での営業活動の後、'21 年より現職。幅広い産業分野の経験を活かして循環経済の現実を探る。

人類が、地球 1 個分の資源をサステナブルに活用して生きていくためには、循環経済の導入が不可欠です。それには、技術のみならず、人々の考え方やビジネスモデルなど、すべての点において変革が求められます。シェアリング、right to repair (修理する権利)、レトロフィット等の、企業のビジネスモデルが大きく変わっていく可能性を解説します。

### <技術紹介> 資源循環を実現する産総研の最先端技術を 3 件紹介

### <パネルディスカッション> “自然資本” も考慮した循環型社会の概念をいかに社会に組み込むか

パネリスト：和田 喜彦  
同志社大学  
経済学部 経済学科  
教授

パネリスト：有賀 利郎  
DIC 株式会社  
執行役員 R&D 統括本部長  
兼 総合研究所長

パネリスト：濱川 聡  
(国研)産業技術総合研究所  
材料・化学領域  
領域長

モデレータ：有年 和廣  
(一財)日本経済研究所  
常務理事 事務局長  
兼 SDGs 研究センター長

(敬称略。変更となる場合があります。)

# 〈パネルディスカッション〉 “自然資本” も考慮した循環型社会の概念を いかに社会に組み込むか

パネリスト：和田 喜彦



同志社大学  
経済学部  
経済学科  
教授

エコロジー経済や循環型社会の概念を理解したら、次は社会に組み込む方法を考えていきましょう。技術と社会制度の両方で、現状の延長線上ではない方法が必要です。

パネリスト：有賀 利郎



DIC 株式会社  
執行役員  
R&D 統括本部長  
兼 総合研究所長

“資源”は“化学”の力で“素材”に生まれ変わります。地球全体を限りある資源ととらえる循環型社会を実現するには、どのような化学の力を期待しますか？

パネリスト：濱川 聡



(国研)産業技術総合研究所  
材料・化学領域  
領域長

資源循環型社会の実現には、経済発展と環境保全の両立に資する革新的な技術開発が必要です。資源循環技術に関する研究開発の最前線にいる立場からお話します。

モデレータ：有年 和廣



(一財)日本経済研究所  
常務理事 事務局長  
兼 SDGs 研究センター長

現代社会に循環経済を導入するには、ビジネスモデルの変革が必要です。どのような「仕掛け」なら受け入れられ、上手くいくのか、パネリストと共に議論します。

## プログラム

(敬称略。変更となる場合があります。)

13:30 - 13:35	開会挨拶	・(株)日本政策投資銀行 取締役常務執行役員 村上 努
13:35 - 13:55	基調講演	「地球生態系とのバランス指標としてのエコロジカル・フットプリント～ダスグプタ・レビューの示す未来」 ・同志社大学 経済学部 経済学科 教授 和田 喜彦
13:55 - 14:10	講演	「循環経済がビジネスの常識を変える」 ・(一財)日本経済研究所 常務理事 事務局長 兼 SDGs 研究センター長 有年 和廣
14:10 - 14:45	技術紹介	「産総研における資源循環技術への取組」 ・(国研)産業技術総合研究所 資源循環利用技術研究ラボ ラボ長 佐々木 毅 「環境を脅かす窒素排出を解決する窒素循環技術」 ・(国研)産業技術総合研究所 資源循環利用技術研究ラボ・窒素資源循環チーム 研究チーム長 川本 徹 「循環経済に貢献するケミカルリサイクル技術」 ・(国研)産業技術総合研究所 資源循環利用技術研究ラボ・ケミカルリサイクルチーム 研究チーム長 吉田 勝
14:45 - 14:50	休憩	休憩
14:50 - 15:55	パネル ディスカッション	“自然資本”も考慮した循環型社会の概念をいかに社会に組み込むか [モデレータ] ・(一財)日本経済研究所 常務理事 事務局長 兼 SDGs 研究センター長 有年 和廣 [パネリスト] ・同志社大学 経済学部 経済学科 教授 和田 喜彦 ・DIC 株式会社 執行役員 R&D 統括本部長 兼 総合研究所長 有賀 利郎 ・(国研)産業技術総合研究所 材料・化学領域 領域長 濱川 聡
15:55 - 16:00	閉会挨拶	・(国研)産業技術総合研究所 副理事長 村山 宣光

## 参加申し込み

ご参加には事前登録が必要です。下記の URL か、QR コードよりご登録をお願いします。

[https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN\\_ZM9B\\_x6tTum\\_mKayvCrpnw](https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_ZM9B_x6tTum_mKayvCrpnw)

事前登録サイト QR コード⇒



## 事務局